

恵那の農畜産物のブランド展開

■夏秋トマト・東美濃夏秋トマト生産協議会 猛暑対策の構築に向けて

東美濃夏秋トマト生産協議会の下部組織として技術部会が設置されており、そこで、生産者が導入すべき技術について、実証圃を設けて検討が行われている。

ここ数年の猛暑の影響により、本来であれば、9月以降着果し収穫できるはずの花が落花してしまい、後半の出荷量が減少している。

そこで、令和6年度から技術部会員を中心に猛暑対策に向けた実証圃を県単独事業の活用により設置し、ハウス内気温を下げるための方策について検討が進められている。今年度は、遮熱資材に着目し、現在導入されている遮光資材や遮光（熱）塗布剤との比較試験について管内3カ所で実証を行っている。

恵那農林事務所では、おんどとり（環境データ測定・記録機器）を活用しハウス内気温、日射量の測定や、サーモグラフィカメラを活用し果実・葉面温度の測定、一定間隔での生育調査を行い、当産地に適した遮光（熱）資材の提案を予定している。

今後も産地の課題解決に向けた提案や活動を継続して行っていく。



【調査の様子】

(園芸産地支援第一係)